

進学塾アベックス アベックス便り 4月号

令和5年 4月吉日

新しい学年になってはや1ヶ月が過ぎました。学校開始の好ダッシュの為に春休み中に旧学年の総整理を済ませ、学習サイクルに好リズムをつけよう!

※合格速報…おめでとう!

- 松岡愛莉さん(常翔学園高校)…兵庫県立大学[経営学部]
- 藤井由羽さん(清水谷高校)…武庫川女子大学[経営学部]
- ◆高田沙羅さん(新生野中学)…布施高校
- ◆三光 董さん(堀江中学)…布施高校
- ◆戸島二菜さん(堀江中学)…花園高校
- ◆松本杷奈さん(東生野中学)

みどり清朋高校

今月の予定

- 1日(土)受験生の
- 中3生のみ全国テスト
- 7日まで春期講習実施
- ※紹介キャンペーン継続中
- 紹介者もお友達も特典が!
- 新学期から楽しく学ぼう!!



合格パーティー
2023/3/21
一年間頑張った仲間と
楽しいひと時を
過ごしました。
ご馳走様でした!!

自転車もろ共地面に叩き付けられた私は、腰を強打してしばらく動けず呻きながら倒れていた。すると、傍から見知らぬおばさんが声を掛けながら、駆け寄って来てくれた。『兄ちゃん、大丈夫か?怪我しとらんか?』『あ、大丈夫です、ちょっとバランス崩しただけなんで…痛っ、ウツウ…』『どっから来たん?一人で自転車で…そんで、どこ行くん?』『大阪からです潮岬まで…行こうかと…』『ん?潮岬まで?』啞然とした顔しておばさんは呆気に取られていたが、ちょっと間を入れ、何も食べとらんやろ? ちよつと待つとや…』と言うや、国道沿いの畑に入ってしまった。しばらくすると、袋にどっさり蜜柑を入れて戻り、『れ食べて元気出して又頑張って行こう』と私に蜜柑一杯の袋を手渡すのだ。おばさんは有田の蜜柑農家の人で、農作業中の横で私がぶつ倒れたのを見たものだから驚いてすつ飛んできたらしかった。

しばらく会話を交わしてお礼を言って、又私はペダルを回し始めた。今度はおばさんに見送られているだけに、再び無様な転倒なんて絶対出来ない…しかも振り返るとおばさんはいつまでも手を振っているのではないかと私は渾身のチカラを振り絞り、急勾配に再チャレンジし、歯を食い縛りながらペダルを回し続けた。何とかバランスを保ちながらおばさんの姿が見えなくなる所までやっど辿り着き、山間部の頂き付近で休息をとった。そこで頬張った貰った蜜柑の美味しかったこと!それが忘れられず、今でも蜜柑は有田ブランドが大好きで最良にしている。何より他者に期待されての[バカチカラ]のパワーに我ながら驚き、その時に人間の潜在能力の凄さに感心したのは収穫だった。なにせ、絶対無理とか諦めたら終わることも、期待に応えようとするだけで、難なくクリア出来るのだから、いかに[気持ち]が大切なのが分かった。貰った蜜柑の大半を食べながら、妙に納得しながら別人のように生き返った私は、おばさんの期待にも応えねばならず、また自転車に跨りペダルをチカラ強く回し始めた。下る山間部の国道を、自動車さえビュンビュン抜き去りながら一気に有田を抜け、醤油で有名な湯浅を通過し御坊から印南まで来た頃には、お昼もすっかり過ぎて大阪から125キロくらい走っていた。やっど目標の半分まで来たが、このままのペースなら潮岬に、とてもではないが日没まで辿り着けない。とにかく頑張っ、ひたすらペダルを回し続けるしかないのだが、いろんな思いが逡巡する…。人生には、意味も無く、とりあえず頑張るしかない瞬間がいくらでもあるものだ。不安定に前が見えないときは特にそうだ。

『そもそも何で俺は自転車漕いでいるんやろ?』親父は莫大な借金喰らってこの先大丈夫なんか?こんな状況で浪人して大学行く意味あるんか?家業手伝って親父を助けるべきではないのか?『医学部落ちて当たり前やっただ、浪人したらホンマに受かるのか?』『なんで、梁先生は死んだんや?』『こんな調子で本当に潮岬まで着くんか?』『あ、モハメッド・アリやったら、こんな時どうするねん?』
ロードサイドをゆっくり流れる景色は、私の大好きな大海原だ。 [裏面に続く]